

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立花園高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上 ② 学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動の意欲向上（主体態度の評価） ③ 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上（知識及び思考力・判断力・表現力の評価） ④ 希望進路実現率の向上（国公立大学及び難関私立大学進学者数の増加） ⑤ 読書活動（年間読書冊数）の向上
計画名	学びの劇的改革！「花園高校図書学習情報センター」の設置 ～「情報発信スタジオ」及び「校内教育資料横断検索システム」の整備～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1. 学び続ける意欲と態度、確かな学力の育成</p> <p>（3）自学自習の習慣を確立する取組み</p> <p>ウ 学校経営推進費事業（R3）「花園高校図書学習情報センター」を設置。授業、補講指導、オンライン学習支援など、生徒の学びを包括的な改革を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「情報発信スタジオ」を整備し、教員によるオンライン教材の開発に資するとともに、国内外複数地域との同時接続による交流、本校舎普通教室へのライブ配信などの機能を授業等で積極的に活用し、生徒の思考力・判断力・表現力及び主体態度を養う。同時に撮影した動画をアーカイブ化し学習教材として活用する。 ② 「校内教育資料横断検索システム」を構築し、図書館や各教科準備室保管の書籍、探究発表や学校行事の映像や文書、各教科等の学習動画をアーカイブ化し、本校での日々の教育活動の全容を横断的に関連付けて、検索・閲覧できる「情報センター」をつくる。また、各資料には資料管理者や教員が付ける検索タグの他に、生徒が記述可能なタグ領域を用意し、資料の有機的な結合を促進する。 ③ 「生徒が読みたい本」「生徒に読ませたい本」を整備し、読書活動を啓発し、読書によって教養を身につける経験をさせ、自主的な読書活動を支援する。 <p>※外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（2年次2回め）B2以上 40%、B3以上 80%「生徒向け学校教育自己診断（以下生徒自己診断）」において、令和5年度までに「授業などで自分の考えをまとめたり、発表したりすることがよくある」78%以上（R2：75%）、「教え方に工夫をしている先生が多く、授業は分かりやすい」78%以上（R2：75%）、「コンピュータ等のICT機器が授業などで活用」90%以上（R2：89%）、「授業・補習を通じて、進路に必要な学力を得ることができる」90%以上（H30：85%、R1：88%、R2：86%）、「態度よく集中して授業を受ける」86%以上（H30：86%、R1：83%、R2：83%）、「宿題・予習・復習など、家庭学習の習慣がついている」60%以上（H30：49%、R1：42%、R2：56%）、また、令和5年度に読書を年間10冊以上の生徒80%を達成。</p>
事業目標	<p>薄暗く閉塞感の強い図書館を、光と風の通う明るく開放感のある空間にデザインし、以下の機能を持たせる。</p> <p>1 「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」に則り、本校が積極的に取り組んでいるSDGs探究活動や進路探究学習に読書活動を積極的に取り入れ、インターネットによる情報のみ</p>

	<p>に頼らない、確かなエビデンスに基づく探究的学習を実践する。キャリアパスポート等に反映し、自らの進路を切り拓く力を育成する。</p> <p>2 「情報発信スタジオ」を整備し、教員によるオンライン教材の開発に資するとともに、国内外複数地域との同時接続による交流、本校舎普通教室へのライブ配信などの機能を授業等で積極的に活用し、生徒の思考力・判断力・表現力及び主体態度を養う。同時に撮影した動画をアーカイブ化し学習教材として活用する。（グループ単位の高度な web 交流や発表準備の場としての活用を主とする。クラス単位での web 交流は call 教室、学年単位での web 交流は普通教室同時接続で実施し、使用用途の棲み分けを行う。）</p> <p>3 「校内教育資料横断検索システム」を構築し、図書館や各教科準備室保管の書籍、探究発表や学校行事の映像や文書、各教科等の学習動画（授業、進学講習、人権学習、防災教育など）をアーカイブ化し、本校での日々の教育活動の全容を横断的に関連付けて、検索・閲覧できる「情報センター」をつくる。また、各資料には資料管理者や教員が付ける検索タグの他に、生徒が記述可能なタグ領域を用意し、資料の有機的な結合を促進する。</p> <p>4 生徒にとって様々な情報が収集でき自学自習の学習環境を飛躍的に向上し、居心地の良い学びの空間を実現する。</p>
<p>整備した設備・物品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館への情報発信スタジオの設置（超単焦点プロジェクタ・電子黒板・無線 LAN） ・ 動画編集用 PC、撮影及び音響機材 ・ 書架、書籍、ミーティング用椅子、照明工事、遮光カーテン
<p>取組みの 主担・実施者</p>	<p>主担： 校長、教頭、情報化推進部、文化国際部、「総合的な探究の時間」検討委員会 実施者： 全教職員、各教科（国語、社会、数学、英語、保体、理科・芸術・家庭・情報）</p>
<p>本年度の 取組内容</p>	<p>【全学期】 生徒によるライブ配信の積極的運用、地域連携・高大連携・国際交流への活用 の定着、SDGs 探究学習における「学びの質」の飛躍的向上の実現→2 年次発表会（コンペティション）の公開、ビブリオバトル（web 開催）の実施（1 年次）</p> <p>【1 学期】 図書学習情報センター利用ガイダンス（1 年、新転任教職員）</p> <p>【3 学期】 取組みの評価の分析、次年度計画策定、取組みの成果発表会（教職員対象公開）</p>
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<p>①学校教育自己診断における生徒の授業満足度「授業・補習を通じて自分の進路にとって必要な学力を得ることができる」の肯定的回答 90%</p> <p>②学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動「私は探究的な学習を積極的に取り組んでいる」の肯定的回答 80%</p> <p>③外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（2 年次 2 回め）B2 以上 40%、B3 以上 80%</p> <p>④第一希望進路実現率 75%、国公立大学及び難関私立大学（関関同立・産近甲龍・関西外大・京都外大）合格者 120 名</p> <p>⑤年間読書冊数 10 冊以上の生徒 80%</p>
<p>自己評価</p>	<p>①学校教育自己診断における生徒の授業満足度「授業・補習を通じて自分の進路にとって必要な学力を得ることができる」の肯定的回答 87% ……………（△）</p> <p>②学校教育自己診断における生徒の主体的な探究的学習活動「私は探究的な学習を積極的に取り組んでいる」の肯定的回答 75% ……………（△）</p> <p>③外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（2 年次 2 回め）B2 以上 23.8%（72 名）、B3 以上 70%（206 名）……………（△）</p> <p>④第一希望進路実現率 81.1%、国公立大学及び難関私立大学合格者 228 名……………（◎）</p> <p>⑤年間読書冊数 10 冊以上の生徒 5.2%……………（△）</p>
<p>事業のまとめ</p>	<p>①②は、目標値を高く設定したため△となっているが、4 人に 3 人は積極的に探究活動に取り組んでおり、成果には現れている。</p> <p>③④は、着実に進学実績を伸ばしてきていることから、生徒の学びについての取組みや進路実現には大きく成果が現れていると判断できる。</p>

⑤は目標値を大きく下回っているが、POP コンテストでの2年連続の入賞やビブリオバトル大会への参加および令和5年度の入賞実績から、着実に事業の成果が現れ始めている。”